

学校だより 11月号

令和7年10月31日（金）



048 (641) 1214

048 (641) 6680 (さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな 実践力のある生徒』

- ◆ たしかな学力
- ◆ ゆたかな心情
- ◆ たくましい身体

実りの秋

校長 廣江 剛

学校の中庭のひと際大きな金木犀の木から、とてもよい香りが秋風に運ばれて教室の中にまで入ってきます。これほど大きな金木犀の木を私は見たことがない気がします。毎日しあわせな気持ちにさせてもらっています。



秋は、自然が豊かな実りをもたらすと同時に、生徒たちの心にも、努力の果実が実る季節です。先日開催された合唱祭では、生徒たちが丹念に積み重ねてきた練習の成果を、素晴らしい歌声で披露してくれました。それは、まさに「歴史を紡ぐ 歌声ひびく 大宮北中」を体現するものでした。ただ一つ残念だったのは、まさかのインフルエンザの流行により、3年1組が学級閉鎖となり、参加が叶わなかったことです。しかし、3年2組と3組が1組の想いを受け止め、心を一つにして歌った学年合唱「群青」は、まさに魂を揺さぶるものであり、後輩たちの憧れとなる素晴らしい合唱でした。「ああ あの街で生まれて君と出会い たくさんの想い抱いて 一緒に時を過ごしたね」という冒頭の歌詞が、3年生の皆さんに普段の学校生活で、仲睦まじく遊んだり語り合ったりしている姿と重なり、涙が出そうになりました。また、2年生による学年合唱は、豊かな情感が伸びやかな声でホールいっぱいに響き渡り、鳥肌が立つほどの感動を与えてくれました。1年生にとっては初の舞台でしたが、緊張を乗り越え、堂々と歌い上げる姿に、成長の萌芽を感じることができました。

10月は、運動部の活躍も目覚ましく、新人体育大会において、サッカーチームと男子卓球部が団体で県大会への出場を果たしました。サッカーチームは、大宮南中学校、埼玉朝鮮初中級学校と本校の合同チームですが、本校は、最も多くの選手が出場しています。別々の学校に所属する選手たちが息の合ったチームプレーを展開するには、並々ならぬ努力があることだと思います。11月9日（日）が県大会の初戦となりますので、3校で熱い応援をしたいと思います。男子卓球部は10月28日（火）に県大会が行われ、ベスト16にまで勝ち上がりました。市の大会の時からあまり日にちが経っていないにも関わらず、全選手が大変力を付けているのがよく分かり、驚きました。中学生の成長には、無限の可能性があることを改めて教えてくれた気がします。また、10月21日（火）に開催されたさいたま市中学校駅伝競走大会では、本校代表選手団が昨年を凌ぐ成績を収め、力強い走りで全校生徒の期待に応えてくれました。駅伝の選手たちは、自分の勉強時間や同好会活動の時間を削って早朝に練習を重ねてきました。本番で走るのは男子6名、女子5名ではありますが、その真摯な努力の積み重ねに対して、練習に参加した生徒全員に万感の想いで拍手を送りたいです。本当に疲れ様でした。

さらに、学術の分野においても輝かしい成果がありました。埼玉県科学教育振興展覧会において、2年生の佐藤日向さんが「埼玉県知事賞」を受賞しました。知事賞は埼玉県ナンバー1の賞であり、県を代表して全国の舞台に駒を進めることになりました。佐藤さんの飽くなき探究心と粘り強い研究姿勢が高く評価されたことは、本校の誇りとなる快挙です。

最後になりますが、11月は「読書月間」です。静寂の秋にふさわしい知的な営みに心を向ける時期であります。本を開けば、そこには無限の世界が広がります。言葉の力が心を耕し、想像力を育ててくれます。読書は、目には見えない「心の実り」を育む尊い営みなのです。ページをめくるたびに広がる物語や知識の世界は、皆さんの感性を磨き、思考を深める糧となることでしょう。図書委員会も様々なイベントを考えてくれているようです。秋の澄んだ空気の中、静かに本と向き合う時間を大切にし、豊かな心を育んでいきましょう。